評価の「組み合わせ」で実現する

整形リハベストアプローチ

～隠れた原因を攻めて実現する回復の最短ルート～

「筋力低下 × ROM制限」「疼痛 × 代償動作」編

日　時：2026年1月18日(日) 10：00～16：10
会　場：インターネット生中継セミナー
講　師：木藤 伸宏 先生(広島国際大学)
対　象：PT・OT・ST・看護師(左記以外でも受講可)
受講料：会員 9,800円(税込)　一般 12,800円(税込)

2週間見逃し受講期間あり

今、会員になると 年会費4,900円が無料 実質7,900円割引

講座コード R-329

ありきたりな評価で、真の問題を見抜けると思ったら大間違い

ちゃんと評価してリハビリを実施しているのに「あまり良くなっていないかも…」と悩んでいませんか？それ、広い視点から障害を診る、“多角的”な臨床眼が足りないのかも。このコースでは、症状の「組み合わせ」から、機能障害の本質を見抜く方法を徹底解説。どこにアプローチをすべきか、多角的な臨床思考から見破るすべを学びます。「的確な評価から、いつもベストアプローチしたい！」そんな願いを叶える夢の講座、いよいよ開講です。

これぞプロの臨床眼！
多角的な視点で核心を突く超臨床的アプローチを身につけよう

- 症状の組み合わせが重要な理由はここ！
  複数ある症状のアプローチすべき問題の見抜き方
- 可動域制限と筋力低下の“相互関係”を読み解く！拘縮が筋出力を制限するメカニズム
- 離床時の制限を深読み！可動域制限と筋力低下どちらの影響が大きいか見抜く評価のコツ
- 変形性股関節症の屈曲－内旋制限へのアプローチが筋出力を変える！
- 三角筋は悪者！？肩関節周囲炎における疼痛回避と“隠れた代償動作”の見抜き方
- 半月板損傷後の疼痛 × 姿勢異常の“因果関係”を評価する
  膝関節屈曲制限による骨盤後傾と体幹前傾の連鎖
- 肩関節周囲炎の回復期における“再学習”と“再構築”のアプローチ
  ～習慣化した代償動作からの脱却と運動再教育の工夫～　ほか

上記各1講座の受講で離床アドバイザー習得コースの理論コース単位1単位を取得できます。

全2講座シリーズ受講もできます

1月18日(日) 10:00-16:00
「筋力低下×ROM制限」「疼痛×代償動作」編

2月14日(土) 10:00-16:00
「筋緊張亢進 × 疼痛」「しびれ × バランス障害」編

受講方法

① ホームページよりオンライン登録
日本離床学会　検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に！ 日本離床学会
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラーレルビル2F